

# 学生相談室だより



2014年 第2号(通算第32号 2014年 11月 発行:京都橘大学 学生相談室)

すっかり秋が深まってきました。味覚の秋、行楽の秋、読書の秋…  
みなさんはどんな秋を過ごしていますか？  
なんとなく秋の風は、センチメンタルな気分にもさせますね。

## ほっと一息つきたい時、誰かに何かを聞いてほしいなと思った時

…どんなことでも構いません。気楽に気軽にいらしてください。

場所は、清優館に入って右へまっすぐ行ったところにあります。  
「学生相談室だより」第2号は、5人のカウンセラーがそれぞれ自由に綴ります。

## 【カウンセラーからひとこと】

### 小川真理

まだ日中は気温が上がる日もあって、毎朝何を着てようか迷います。  
さすがにもう遠目にも学生さんには間違えられなくなってしまいましたが、  
普段着るものに頓着のない私は、迷うと学生さんの洋服を参考にしたりします。  
でも「今こんなのが流行ってるのか～」と感心しつつ、結局いつも同じような格好に。

卒業生と偶然駅で会ったときのこと。「またそんな土曜日みたいな服着て～」と言われスウェットに汚いジーンズだった私は「確かに気が緩んだ格好。うまいこと言うな」と納得しました。いつもおしゃれだった彼女がどうとらえていたのかわかりませんが、実習やバイトで忙しかった彼女の学生生活を思い出してみました。分刻みのスケジュールから土曜日は少しだけ解放されていたのかもしれない。  
私も土曜日の気分が好きです。



気持ちが疲れていたり、忙しい毎日を送るクライアントに、  
せめて私と会うときくらいは土曜日のようなゆったりした時間を過ごしてほしい、  
そう願って私は今も土曜日みたいな格好で毎日出勤します。

「土曜日みたいな人」でありたい私は、橘大学では「水曜日」にいる人です。





## 河井直美

「あしびきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかも寝む」これは中学校か高校で習った柿本人麿の一首ですが、習った当時は、今宵も恋しい人を想いながら長い夜を独りで眠るのだなあ…と（しみじみ）その想いが我がことのように身に沁みこんだ気がします。が、どうしたことか？・・・今は同じ歌を聞いても「～ひとりかも寝む」（ハエーそうかもねん）としか思わないし、時々不眠になって眠れぬ夜にゃ、（憎々し夜をひとり明かすねん、柿本ひとごと）と思う。

ついでに漱石の一句を。「明けたかと思ふ夜長の月あかり」と聞けば、「明けたのにぼんやりかすむ朝日かな」と、目のかすみが気になるこの頃。（しみじみ）はどこにいらしてしまったのだろうか？沁みこんだ想いはどこに消えたのだろうか？

薄れゆく若さとエネルギーにゆっくりさよならしながら、視力のよさやしみじみはなくなっていくけれど、昔嫌いだったものがなぜ今は大好きなんだろうと思うものがある。例えば納豆やヨーグルト、トマトジュースは大の嫌いでしたが、今はだーいスキ。たぶん、これからもずーとスキ。どうだ！人は好みが変わるのだ。時間と共に変わるんだぞ！と胸を張る。小学校の時、「秋の日に初めて出たよヨーグルト食べられずしてじっと佇む」詠み人知ってる。

食べ物や趣味の嗜好が変わるのに比べると、性格や人との関係が急に変わるというのは難しいことではあるけれど、困ったり悩んでいることが変わりたいという表れかもしれません。では最後に一句、「秋深し困りごとあらばひとり来てねん」



## 國松典子

1 シーズン前の連続テレビ小説は『花子とアン』で、数年前には出版 100 周年で、ちょっと話題が続いた『赤毛のアン』を、つれづれと…。私は小～中学校時代に「アン」が大好きで、そのなかで心に残っている言葉をいくつか紹介したいと思います。

アンは生後 3 ヶ月で伝染病に倒れた両親と死に別れ、親戚をたらい回しにされた後、孤児院に預けられて辛い時期を過ごしています。11 歳でマシュー・マリラの老兄妹に引き取られるのですが、「（でもアンがこんなに気立ての良い子なのは）生まれて 3 ヶ月の間に両親の愛情がたっぷり注がれていたからだろう」と語られます。また、アンは成人してから両親の知人を訪ね、母親がアンを生んだ当時に書いた日記を読みます。そこには「私は眠っているこの子が世界で一番可愛いと感じるし、目を覚ましているこの子を見てももっともっと可愛いと思うのです」と綴られていたのです。これらの言葉は、私が大人になってから殊に思い出されるようになったものです。

他にも、アンは自分の赤毛のことを近所の口の悪いリンド夫人に「まあ、にんじんのようだこと！」と言われ、泣き叫びながら暴言を浴びせます。後でマリラが「いつも自分だって赤毛を嫌ってるくせに何であんなに怒ったのさ」と尋ねると、アンは「自分で思っているのと人に言われるのは大違いよ」と答えます。この言葉は、子ども時代の私の胸に突き刺さり、今でもハッとすることがあります。

こんなふうに思い返していると、久しぶりに「アン」に会いたくなってきました。秋の夜長、家のどこかに埋もれている「アン」シリーズ、発掘してみようかな。





## 阪本路子

朝晩が涼しくて過ごしやすい！と思っていたら、あっという間に朝晩が冷えて寒い！すっかり秋の気配となりましたね。

皆さんは一年の中でどの季節が好きですか？

自分の誕生日がある季節が好き、という声を聞くことがあります。私もその通りで、秋も好きなのですが、春が大好きです。「この季節に生まれた」という縁を感じて親近感が沸いたり、「生まれ」芽吹く草花の色や香りを感じたり、「新しい何かが始まる」ソワソワ・ドキドキした気持ちが好きなのかも…。この原稿を書きながらそう気付く自分がいます。

でも、好きな季節は長くは続きません。とっても暑かったりとっても寒かったり。実は、「あまり好きじゃないなあ」「嫌だなあ」と思う過ごしにくい季節を過ごしている方が私には多いかもしれません。でも！そんなことばかり言っていたらもったいないな！私が「過ごしにくい」と思っている季節を好きな人はいる訳だし、きっとその中にもいいところがあるはず。そう思って過ごしてみると、夏はユニバでずぶ濡れになってみたり、冬は寒いところからの温かいお風呂！そして夜景。楽しみを見つけると、好きじゃない季節も「いいかも！」なんて思える自分がいます。

「こんなん、めっちゃ嫌やねんけど！」…そんな中にもきっと何か“いいもの”が隠れているはず。その隠れている何か、探してみませんか？

一緒に探す準備は出来ています。いつでも気軽に相談室に「遊び」に来てみてください。お待ちしております♪



## 村居香



少しずつ秋を感じるようになってきましたね。私はカメラを持ってあちこちに散歩がしたくなります。

学生の頃は夏の空や青々とした葉の印象の方が強く、すっきりとした感じや緑で埋まる山の統一感みたいなのに惹かれていたのかもしれませんが。



今は紅や黄色、茶色などがまばらに山を染める感じが‘なんかきれいだな’と思うようになりました。秋の葉は近くで見ると微妙に色が違っていて、その美しさを知ってからは遠くからでも葉の一枚一枚を想像しながら、ゆっくり山を眺めていたい気になり、山科に来る時には電車の窓からいつもぼ～と外を見ます。



カメラを持つと地面へ落ちた秋の葉に気付くことや、のんびり歩くぶん周りをゆっくり見渡しながら、色んな音を聴きながらいつも何か見つけている気がします。

この秋はどこへ行こうか、もう動きたくてうずうずしてます♪

毎日生活を送ることは何だかんだと忙しいです、‘ちょっとだけゆっくり’考えたり、話をしたいときなどにも相談室へ来て貰えたらいいなあと思います。



## 【 開室時間 と 予約方法 】



### 開室曜日および各担当者

月曜日	河井・村居
火曜日	河井・阪本
水曜日	小川・村居
木曜日	國松・阪本
金曜日	國松



### 開室時間

月・火・水・木・金曜日 9:00~16:15

### 個別面接時間

① 9:00~ 9:40	⑤ 13:00~13:40
② 9:50~10:30	⑥ 13:50~14:30
③ 10:45~11:25	⑦ 14:45~15:25
④ 11:35~12:15	⑧ 15:35~16:15

★個別面接については、予約が基本となります。

「学生相談申込票」で申し込み、「約束カード」で相談日時を確認して相談を受けてください。

★電話でも予約を受け付けています。

学生相談室 075-574-4239 (9:00~16:15)

医務室 075-574-4119 (9:00~18:15)

★予約当日は、直接来室して下さい。カウンセラーが対応します。

★夏期および春期の長期休暇中は、原則として週3回の開室となります。

長期期間中は、学生支援課スチューデントセンター  
(075-574-4114)でも受け付けております。



## 【 学生相談室の場所 】

清優館 2F を入って、右へまっすぐ行ったところにあります。

